

SEI WORLD

2013

01

Vol.424

びわ湖毎日マラソン大会

×

住友電工

びわ湖毎日マラソン大会2013
オフィシャルスポンサー

住友電工グループは「Glorious Excellent Company」を目指します。

住友電工はびわ湖毎日マラソンを
応援しています。

住友電工グループの目指すべき姿「Glorious Excellent Company」

Glorious には400年余の歴史をもつ「住友事業精神」や「住友電工グループ経営理念」の具現化を、
Excellent には持続的成長のための事業目標、すなわち住友電工グループの具体的・定量的な
あるべき姿を示しています。

Contents

トップメッセージ

2 新年のご挨拶



特集

3 新事業領域製品 近赤外組成イメージングシステム Compovision® (コンポビジョン)



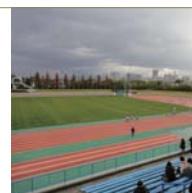
製品技術

5 超精密切削工具 UPC®



Latest Information

6 びわ湖毎日マラソン関連の 活動について 他



今月の関係会社紹介

9 SFF 富通住電光纖(杭州)有限公司



お詫びと訂正

SEI World12月号(Vol.423)に掲載
しました記事もっと知りたいあの製品
技術「ボアフロン®」につきまして、右
記の通り間違いがございました。
謹んでお詫び申し上げますとともに、
訂正させていただきます。

▼P5 (誤)



アルカリ整水器(当社膜内蔵)
(写真提供:㈱日本トリノ)



(正)



アルカリ整水器(当社膜内蔵)
(写真提供:㈱日本トリム)

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、ありがとうございました。

東日本大震災から早2年が経過しようとしています。被災された方々に、改めてお見舞い申し上げますとともに、本年が明るい年となりますよう祈念いたします。

昨年の世界経済を振り返りますと、欧州では債務危機が深刻化し、新興国の成長も減速、米国の景気回復の足取りも鈍く、総じて景気減速がグローバルに拡大する状況となりました。日本も、エコカー減税や震災復興需要により内需は底堅く推移したものの、

円高や海外経済の減速等による輸出の減少により、景気は弱い動きとなりました。

こうした厳しい情勢のもと、当社グループは、グローバルな成長市場分野への拡販や生産最適化による徹底したコスト低減に取り組みとともに、新技術・新製品の開発・拡販に注力いたしました。

自動車関連では、アセアン、メキシコ等でのワイヤーハーネスの生産増強を図るとともに、産業素材関連では、自動車生産が拡大するインドネシアでの切削工具、焼結部品、オイルテンパー線の生産を決定いたしました。また、情報通信・システム関連では、光ファイバケーブル、光機器のグローバル

での拡販を進める一方、ベトナム拠点への生産シフト等による光電子デバイスのコスト低減に取り組んでおります。

一方、新製品・新技術については、環境エネルギー分野では、昨年7月より当社横浜製作所で大規模蓄発電システムの実証運転を開始し、レドックスフロー電池や集光型太陽光発電装置等の事業化を推進しております。また、昨年10月より日本で初めて、高温超電導ケーブルを電力系統に連系する実証運転を開始しました。エレクトロニクス関連では、独自材料であるアルミセルメットを用いた電気二重層キャパシタや、発振波長530 nm帯で100 mW以上

の光出力を有する純緑色半導体レーザの開発に成功、引き続き開発を加速してまいります。

本年も先行き不透明、不確実な、非常に厳しい事業環境が予想されております。中期経営計画「VISION」目標に少しでも近づくと、そして、当社グループのあるべき姿「Excellent Company」の実現に向けて、グループを挙げて邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

皆様のご健康と二層のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



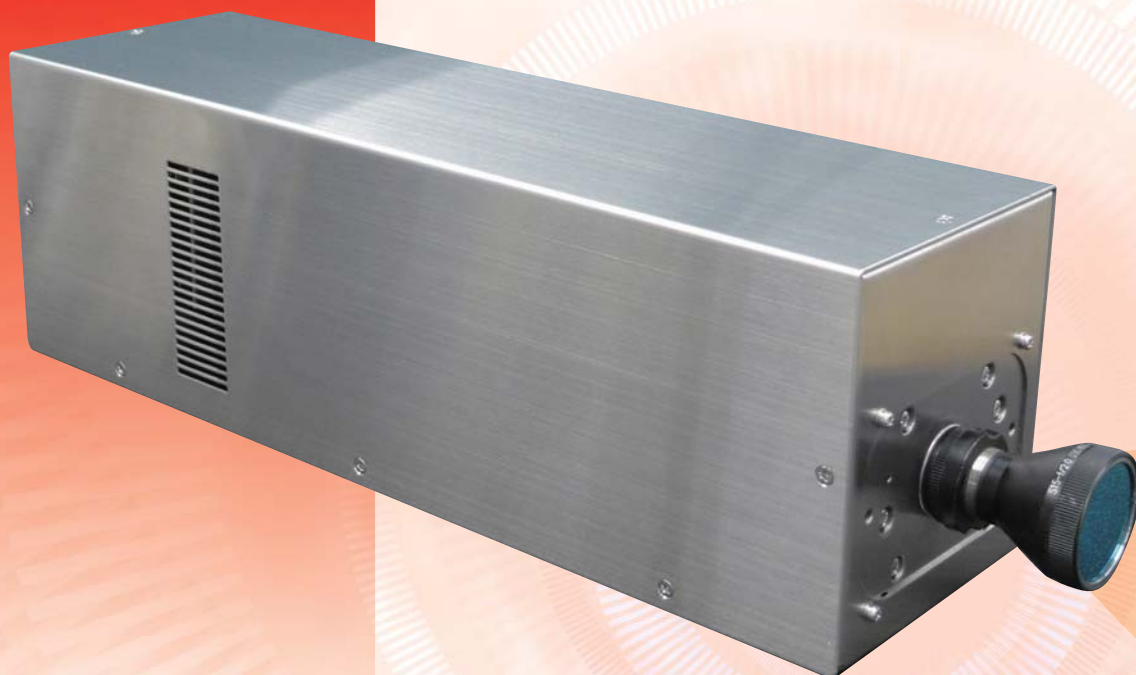
新事業領域製品

近赤外組成イメージングシステム

Compovision®

(コンポビジョン)

住友電工グループには、現在の5つの事業領域を支える様々な材料技術・情報通信技術(コア技術)があります。こうしたコア技術を活用し、新規事業の早期創出に取り組んでいます。今月号では、ライフサイエンスの分野から、化合物半導体および光通信技術を駆使して開発した近赤外組成イメージングシステムCompovision®を紹介します。



原理

Compovision®は、波長1,000〜2,350 nmの近赤外光を受光可能な二次元受光素子と分光器からなるカメラと、ハイパースペクトル分析・イメージングソフトからなる組成イメージングシステムです。

測定対象に近赤外光を当て、非破壊・非接触でその物質の組成や濃度分布等の状態をリアルタイムで計測することができます。

可視画像の代わりに、各画素がスペクトルデータを持った「ハイパースペクトル」を出力するため、スペクトル解析により画素単位での物質の同定、濃度分析が可能となります。通常、赤外光は人間の目では見ることができませんが、任意の波長にRGBを割り当てることで、組成イメージングを可能としております。

特徴

1 非破壊・非侵襲計測

組成の違いや組成の濃度分布を分析する手法として一般的な「**FT-IR**」などの赤外分光法は、非破壊での測定が難しいという課題があります。Composision[®]は、生体や有機物に浸透しやすい近赤外光を利用しており、非破壊・非侵襲(前処理不要)での測定が可能です。



▲検査対象をカメラの下に置くだけ。前処理は何も必要ありません。



▲PTP包装の上から、同形同色でも判別が可能。

特徴

2 組成イメージング

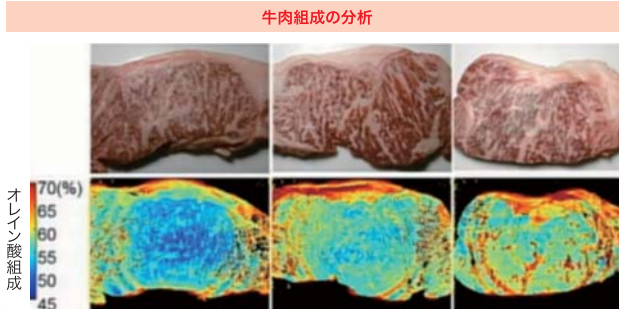
独自の高速スペクトル判定アルゴリズムを開発したことにより、近赤外カメラで収集した全ての画素のデータにおいて、リアルタイムで吸収スペクトルによる組成判定を行い、組成の違いや組成の濃度分布を画像化することが可能です。



▲検査対象により、波長の見え方が異なる

特徴

3 広帯域波長計測



▲微妙な変化や違いを二次元画像化できる ※豊橋技術科学大学中内研究室と共同研究

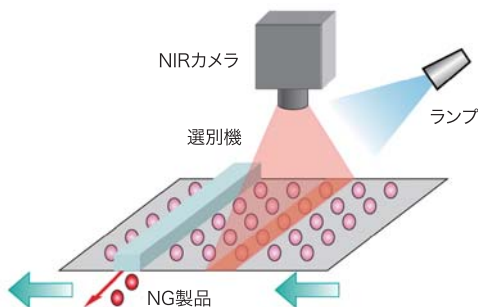
量子井戸構造^{※2}からなる近赤外カメラ用センサ材料を新たに自社開発し、1,000~2,350nmの幅広い波長領域での測定を実現しました。従来のシステムより波長帯域が広く、水・脂肪・タンパク質などの詳細な成分の違いを高感度で検出できます。

様々なアプリケーション

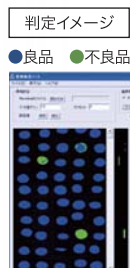
- ・タンパク質成分測定
- ・タンパク質変性測定
- ・脂肪酸測定
- ・水分分布測定
- ・異物検知
- ・脂肪量分布測定

特徴

4 エリア計測



広い範囲をリアルタイムに計測することが可能で、生産ラインとの組合せで、原料・製品を全数チェックできます。FTO包装越しに薬品の成分をイメージング可能です。



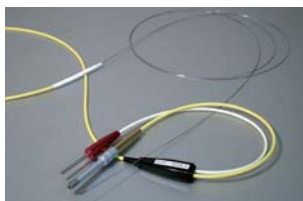
今後の用途展開・開発方針

Composision[®]は薬品、食品の品質管理・検査だけではなく、クリーム状製品の混合均一性検査、発酵食品・飲料やバイオ燃料などの生成途中における状態変化の監視、生体組成の状態観察等、多種多様な用途への適用が期待されています。

応用事例 血管内診断に用いる検査装置

(株)町田製作所が医療機器として開発をした 販売名:内視鏡ビデオシステムMVR-3000(製造販売届出番号:13B1X00246K0019)、販売:(株)町田製作所)には、Composision[®]のカメラ・光源が搭載されています。

本器は、通常の可視光観察と近赤外光観察が切り替え可能なカメラ部と光源部を有するビデオシステムです。今後は、このような医療分野への展開も図っていく予定です。



▲血管内視鏡カテーテルDAG-2218LN (医療機器承認番号 21300BZZ00631000)



▲内視鏡ビデオシステムMVR-3000 (写真提供:株)町田製作所)

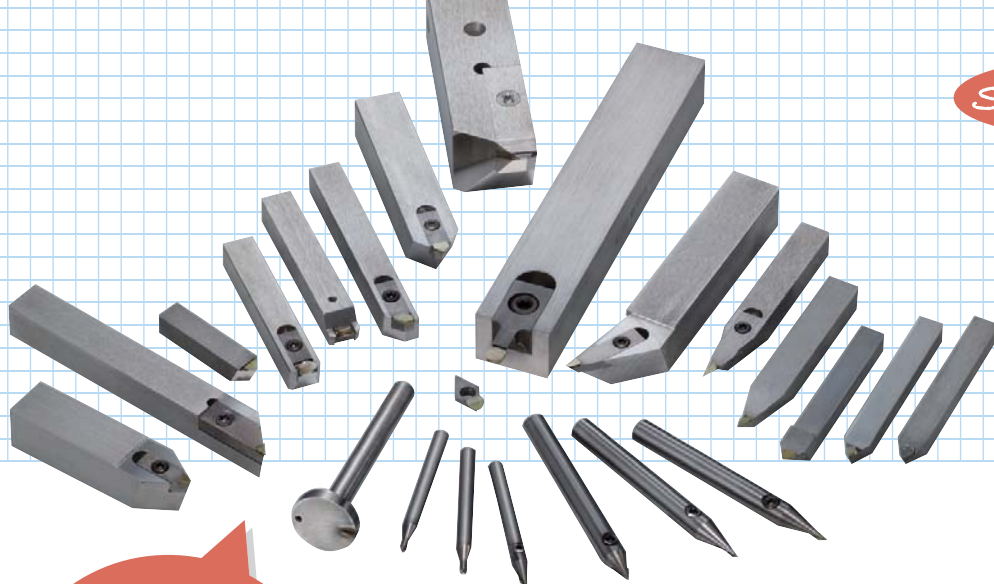
※1 赤外分光法(FT-IR):赤外光を照射し、透過光あるいは反射光を分光することでスペクトルを得て対象物の特性を知る方法。水の吸収率が強く、水分を含んだ試料の測定が難しい(他の吸収スペクトルが隠れてしまう)。また、水分以外でも吸光度が高すぎる成分を含む場合が多く、適切な結果を得るために測定サンプルに加工を施す必要(スライスする、液体であれば希釈するなど)があり、非破壊での測定が困難。さらに、特殊な検出器を必要とし、通常は一点計測となるため画像化する場合はスキャンが必要(リアルタイムでの測定が困難)。

※2 量子井戸構造:ナノメートルの厚さを持つ異なる種類の半導体が交互に積層した構造の総称。1ナノメートルは10億分の1メートル。

SEI子さんと学ぶ

もっと知りたい
あの製品技術

私と一緒に
学びましょう!



製品データ

製造開始

1985年

生産拠点

日本

WEBサイトURL

<http://www.allied-material.co.jp/products/diamond/cutting/upc/>

今月の注目製品

超精密切削工具 UPC®

(株)アライドマテリアルが製造販売する

「超精密切削工具UPC® (Ultra Precision Cutting Tools)」は
超硬合金や高硬度材料の鏡面・ナノマイクロ切削を実現します。

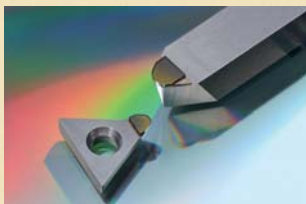
超精密切削工具 UPC®ってなに?

「超精密切削工具 UPC®」は、単結晶ダイヤモンドの特性を活かした刃を持つ切削工具です。独自開発の技術により高精度に研磨し測定された刃は非常に鋭利で耐久性が高く、ナノメートルオーダーの高精度なマイクロ形状加工を実現します。

また2012年1月には、ナノ多結晶ダイヤモンドであるスミダイヤ®バインダレス※1を採用した新タイプ「BL-UPC®」を開発、販売を開始しました。「BL-UPC®」は、単結晶ダイヤモンドの特長である鋭利な切れ刃と、多結晶ダイヤモンドの特長である耐欠損性の双方を備えた切削工具で、従来のUPC®では刃先が欠損しやすかった超硬合金の加工にも活用できます。

※1スミダイヤ®バインダレス:

数十ナノサイズの微細なダイヤモンド粒子が強固に直接接合した、ダイヤモンド単相のナノ多結晶構造を持つ全く新しい人工ダイヤモンド。



製品表面

どんなところに 使われているの?

本製品はプラスチック非球面レンズの金型やレーザー反射ミラーなど、さまざまな超精密部品のマイクロ切削加工に使われています。

その他の用途は以下の通りです。

- CD/DVD/BL光ピックアップレンズ、携帯電話/スマートフォン用カメラレンズ、デジタルカメラレンズ、f/θレンズ、LDEライトコリメータレンズ
- 非球面レンズ・ミラー
ポリゴンミラー、赤外線 (Si, Ge) レンズ
- 液晶ディスプレイ光学フィルム金型、液晶ディスプレイ導光板金型、複写機感光ドラム

技術者に 聞きました



(株)アライドマテリアル
ダイヤ営業統括部
営業技術部
小島 一志

超精密切削工具UPC®製造する上で
難しいことはありますか?

ナノメートルレベルの刃先精度を、硬度の非常に高いダイヤモンドの端面に形成する必要があり、研磨加工そのものが非常に難しいです。特に、単結晶ダイヤモンドは研磨する面や方向により硬さが異なるため、研磨面に合わせた研磨条件の設定が必要になります。加えて、その高い精度の製品を検査・保証するために独自開発した機器を使用するなど工夫があります。

当社製品のどういった点が
お客様に喜ばれていますか?

UPC®の特長でもある切れ味の良い鋭利な刃と、高精度の切れ刃形状によって、超精密切削加工において安定して高い精度を維持出来る点が喜ばれています。また、マイクロメートルオーダーの微細形状を加工する場合、従来はフォトリソグラフィやイオンビームなど使用せざるを得ませんでした。UPC®の登場により物理的な直接加工が可能になりました。表面粗さや加工自由度などが従来方法に勝るため、好評を得ています。

最近の開発品を教えてください。

スミダイヤ®バインダレスを使用した「BL-UPC」を一年前に開発していますが、適用用途を広げるべく一般的なバイト形状だけでなく、エンドミル(対象の端面や底部の加工に使用)や線型(先端部が凹形状のもの)など形状違い品を開発しています。

びわ湖毎日マラソン関連の活動について

当社が今年3月3日に開催される「第68回びわ湖毎日マラソン大会」を特別協賛することに関連して、次の活動を行いました。

● マラソンコース周辺を取材

12月1日、当社グループ社員15名がマラソンコース周辺を取材しました。取材ポイントは、スタート・ゴール地点の皇子山陸上競技場をはじめ、瀬田の唐橋、石山寺等でした。びわ湖の



琵琶湖観光の玄関口 大津港。遊覧船「ミシガン」



大津港の公園で陽が差したかと思うと、湖上に虹がかかりました



スタート・ゴール地点の皇子山陸上競技場

ゆったりした景色を中心に、自然豊かで歴史に彩られたエリアであることを実感しました。大会に応援に行かれる方は、周辺の見どころに足を延ばしてみるとよいかもしれません。

● ヨシ刈りボランティアに参加

12月15日、当社グループ社員、家族など約20名が近江八幡市で行われた淡海環境保全財団主催の淡海ヨシボランティアに参加しました。琵琶湖の水際に広く生育し、水質改善と魚や野鳥の生育場所として大切な役割を果たしているヨシの生育を助けるため、各地でヨシ刈りが行われています。参加者はみな初めての経験でしたが、鎌を手にヨシ原に頭を突っ込んでヨシを刈りました。雄大な自然の中での気持ちの良い経験をすることができました。



これらの活動については、「びわ湖毎日マラソン2013 住友電工スペシャルサイト」でもご紹介していますのでぜひご覧ください。

お知らせ

本社（東京）の移転について

本社（東京）が現在の港区芝浦から港区元赤坂へ移転します。移転先である「赤坂セントラルビルディング」は、東京メトロ銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」駅から徒歩4分の場所に立地し、地上20階・地下3階からなるオフィスビルです。

当社は3階～11階の9フロアを使用し、2013年1月21日より移転先での業務を開始します。

移転先：〒107-8468

東京都港区元赤坂1丁目3番13号
（赤坂セントラルビルディング）

新電話番号：03-6406-2600（代）

お知らせ

公共財団法人住友電工グループ 社会貢献基金※の2012年度事業が決定

このほど、2012年度の事業として、東日本大震災からの復興に資する研究を含む7件の大学講座に総額9,400万円の寄付を行います。また、学術・研究助成では、応募総数69件から選考した結果、16件、総額2,000万円の助成を行いました。

※公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金…国内外の様々な分野における人材育成と学術振興を行うことを目的に、2009年4月に設立し、2010年2月に公益財団法人として認定を受けました。

Webサイト <http://www.sei-group-csr.or.jp/>

お知らせ

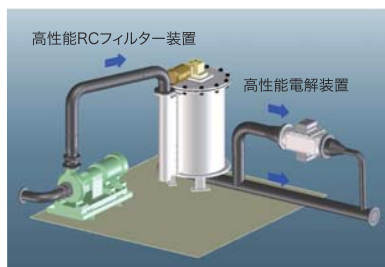
10/24

自動車事業本部 住友電装株式会社
ドイツ・REMA社との電気自動車用充電コネクタの開発などに関する
合弁会社を設立

当社と住友電装(株)は、電気自動車用充電コネクタについて、既に普通充電規格及び急速充電規格「CHAdeMO」に対応した製品を開発しましたが、欧米自動車メーカーが推奨している電気自動車用急速充電規格「Combined Charging System」(以下、「Combo」)に対応した製品開発、市場参入についても検討してきました。このたび当社と住友電装(株)は、ドイツの充電コネクタメーカーで、Combo規格充電コネクタの開発で先行し、また、充電コネクタの標準化委員会などに参画するREMA Liporandt GmbH & Co. KG(以下、REMA社)より、同社が保有する充電コネクタの基礎技術に関するノウハウを買い取るとともに、電気自動車用充電コネクタの開発、設計などを行う合弁会社を昨年11月に設立しました。これにより、Combo規格充電コネクタについても、早急に開発体制を整えられ、お客様への提案、拡販に繋がるものと期待しています。

新会社の概要

| | |
|------|-----------------------------------|
| 商号 | SUMI REMA EV Solutions GmbH |
| 社長 | 千葉 一彰 |
| 所在地 | ドイツ連邦共和国 ボン市 |
| 資本金 | 50万ユーロ(約51.5百万円、1ユーロを103円で計算) |
| 出資比率 | 住友電工:36% 住友電装:24% REMA社:40% |
| 事業内容 | 自動車用充電コネクタの開発、設計、マーケティング |
| 設立時期 | 2012年11月 |
| 人員 | 6人(2012年) |
| 売上計画 | 約60万ユーロ(2012年度) |



共同開発するバラスト水処理装置のイメージ図

当社は、ブランドンなどの除去性能に優れた独自の高性能フィルターと紫外線殺菌装置を組み合わせた

バラスト水処理装置「Ecomarine」を開発中で、型式承認の取得を目指し、昨年4月より実船による船上試験を実施しています。また、アタカ大機(株)は、長年培ってきた世界でトップクラスのシェアを誇る独自の海水電解技術を応用したバラスト水処理装置の開発を進めており、日立造船(株)は、造船や船用ディーゼルエンジンを通じ船舶分野に関する種々の知見を有しています。

3社は、これらを最大限に融合させ、「環境に優しい」をコンセプトに、小型・低消費電力で高性能なバラスト水処理装置の開発を行うと共に、開発段階におけるプロモーション活動を行います。

製品開発および型式承認の取得は、2014年度末までの完了を目指し、その後は3社による合弁会社設立も視野に入れており、2019年度までに紫外線型バラスト水処理装置「Ecomarine」と今回開発する電解型バラスト水処理装置で合わせて累計受注高1,000億円を目標にしています。

展示会

1/16

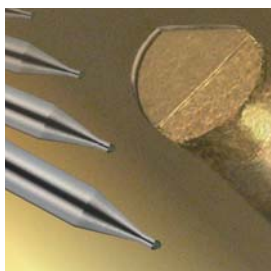


会場 Abu Dhabi National Exhibition Center (ADNEC)
ブース番号 9102
出展製品 マイクログリッド関連製品、ポアフロン®精密濾過膜モジュールなど

ハードメタル事業部、機アライドマテリアル
「第3回精密・微細加工技術EXPO」に出展

本展示会は、エレクトロニクス製品の開発・製造を支える精密・微細加工技術の専門技術展です。

当社は、グループ会社、(株)アライドマテリアルと共同出展し、超精密加工技術から生まれた金型加工用CBNエンドミル、超細径超硬ドリル、ナノ多結晶ダイヤモンド「スミダイヤ®」バイндаレス工具、JPC®等、数々の微細加工用工具を出展します。



スミダイヤ®バイндаレス

会場 東京ビッグサイト
ブース番号 東47-36
出展製品 精密・微細加工用超硬・CBN・ダイヤモンド工具

1/30

フラインボリマ®事業部
InterAqua2013(第4回国際水ソリューション総合展)に出展

1月30日から2月1日の3日間、東

特殊線事業部
オイルテンパー線事業の強化について



当社は、このたび自動車のエンジン用弁ばねやクラッチ、トルクコンバーター

用ばねなどに用いられるオイルテンパー線事業について、アセアン地域で伸長する需要の捕捉に向け、インドネシアの製造拠点であるPT. Sumiden Serasi Wire Products (以下SSWP)に製造設備を新設することを決定しました。新しいオイルテンパー線製造ラインは、2013年10月に稼働を開始する予定です。

SSWPの概要

| | |
|------|----------------------------------|
| 社名 | PT. Sumiden Serasi Wire Products |
| 本社 | インドネシア・西ジャワ州ボゴール県 |
| 設立 | 1990年12月 |
| 資本金 | 51万USD |
| 代表者 | 神埜 公秀 |
| 事業内容 | PC鋼材、ばね用鋼線、ビードワイヤ、スチールコードの製造・販売 |
| 従業員 | 約500名 |



新領域技術研究所 水ビジネス開発部
電解型バラスト水処理装置を共同開発

当社とアタカ大機(株)、日立造船(株)の3社は、電解型バラスト水※1処理装置を共同開発することで合意し、エコマリン技術研究組合を設立しました。



インフラ事業推進部
「WFES 2013」/「IWS 2013」に出席

1月15日から17日の3日間、アラブ首長国連邦・アブダビ首長国で「World Future Energy Summit (WFES) 2013」/「INTERNATIONAL WATER SUMMIT (IWS) 2013」が開催されます。WFES 2013は、再生可能エネルギーと環境関連産業の国際会議で、今回は、水資源・水処理など水関連事業をテーマにした「IWS 2013」も併催されます。当社は、マイクログリッド関連製品、ポアフロン®モジュールなどを展示します。当社展示ブースへのご来場を心よりお待ちしております。



※1バラスト水：船舶が空荷の際に船体のバランスをとる目的で船内に取り込む海水のこと。近年、取水海域の海水を到着港で排水することによる環境被害・生態系への影響が国際的に懸念されています。
これに対して、2004年に国際海事機関で採択された「バラスト水管理条約」※2は、2009年以降に建造される船舶(一部を除く外航船)へのバラスト水処理装置の搭載を義務付けることでも2017年までに既存船にもその搭載を義務付けています。また、昨年6月には米国でバラスト水を規制する法律が施行されるなど、国際的な規制の動きが進んでいます。
※2バラスト水管理条約：正式名称は「船舶のバラスト水および沈殿物の規制および管理のための国際条約」。

展示会URL <http://www.worldfutureenergysummit.com/>
<http://iwsabudhabi.com/portal/home.aspx>

展示会 <http://www.interaqua.jp/>



研究統轄部、新規事業開発部
「SPIE Photonics West 2013」に出席

2月5日から7日の3日間、米国・サンフランシスコで、国際光工学会(SPIE)が主催する世界最大規模の光の展示会「SPIE Photonics West 2013」が開催されます。当社は、赤外光学製品、レーザー関連製品や技術を幅広く紹介いたします。当社展示ブースへのご来場を心よりお待ちしております。



ポアフロン®モジュール

会場 東京ビッグサイト・東4ホール
ブース番号 4L-22
出展製品 ポアフロン®精密濾過膜モジュール、含油排水濾過デモ装置など

京ビッグサイトの「InterAqua2013(第4回国際水ソリューション総合展)」が開催されます。本展示会は、拡大を続ける水処理ソリューションの国際総合展示会です。当社は、ポアフロン®精密濾過膜モジュール及びその関連技術を紹介いたします。当社展示ブースへのご来場を心よりお待ちしております。

会場 The Moscone Center (アメリカ・サンフランシスコ市)
ブース番号 5016 (North Hall)
出展製品 赤外光学製品、レーザー関連製品や技術を幅広く紹介

私が紹介します



製造部 設備技術課
正道 仁

情報インフラが整備され、世界最大の光ファイバ需要国に成長、
ますます発展する中国から

SFF

今月の グループ 会社紹介

グローバルグループ vol.10

最先端技術と最新鋭設備を導入、難題を克服しシェア向上を図る
SFFからのレポートです。

会社概要



名 称：富通住電光纖(杭州)有限公司
設立年月：2008年11月
事業内容：光ファイバ・母材の製造
代表者：末森 茂(総経理)
従業員数：220名
日本人駐在員数：3名



住友電工
との
つながりは

富通住電光纖(杭州)有限公司は、富通集团有限公司との合併で2008年11月に設立された光ファイバ製造会社です(住友電工51%、富通集団49%)。2009年4月に建設を開始し、2010年9月に操業を開始、2012年10月に出荷が1000万Kmを突破しました。情報インフラ整備が進み、今や世界最大の光ファイバ需要国となった中国は、住友電工の情報通信部門の戦略の要であり、その重要な製造拠点です。

日本とまったく異なる環境の中で設備管理を統括、 生産量向上と原価低減が目標

こんな
仕事を
しています

当社は浙江省の省都杭州市から西へ40km離れた富陽市にあります。私は2009年8月に赴任し、駐在は約3年になります。赴任当初は新工場建設と設備の立ち上げを担当し、現在は設備管理を統括しています。新工場建設当時は日本とまったく異なる環境の中で、各種申請、工程・予算・安全管理など、非常に苦労しましたが、多くの方々の協力のおかげで計画通り、操業を開始することができました。

中国の光ファイバ需要は旺盛で、コソ市場も立ち上がり始めており、今後も需要の伸長が期待されています。しかし、一方で品質要求と価格競争が非常に厳しい市場であり、競争に打ち勝つためにも当社には最先端技術と最新鋭設備を導入しています。設備の安定稼働と稼働率向上を図り、技術力をフルに発揮して生産量向上と原価低減を進めることが目下の最重要テーマです。

最近では原材料価格上昇や電力不足などの新たな課題も発生していますが、これ乗り越えることがシェア向上の絶好の機会となるので、事業部門の協力を得ながら社員全員でがんばっています。



SFFの外観



オフィス内

現地スタッフの紹介



汪 少華 (ワン ショウファ)

みなさん、こんにちは！ 私は品質保証部の汪少華です。2010年4月に富通集団から当社に転籍しました。富通集団では光ファイバ、ケーブルの業務に携わっていました。現在は品質保証課でISO9000の業務を担当しています。

当社は赤ん坊のように日々成長しています。さまざまな困難に直面することもあります。強い会社となることが当社全社員がめざす目標です。



王 佳燕 (ワン ジャエン)

みなさん、こんにちは！ 私は財務部の王佳燕です。2010年3月に入社しました。会社の立ち上げ段階から生産が軌道に乗るまでの時期はとても大切な経験になりました。

財務部の仕事は日々緊張の連続で、多忙ではありますがとても充実しています。最大限努力し、日々進歩するのが私の仕事の方針です。同僚は若い人が多く、みんな活発で情熱を持っています。会社とともに成長・発展することが私たちの希望です。

現地レビュー

経済成長のなか、昔の雰囲気が残る富陽市

急速に変化する街並み

富陽は人口65万人の地方都市で、ここでも経済発展が急拡大していることが実感できます。ここ数年の間に、市内を走る自動車台数が急増し、道路整備が進み、農地であった場所にマンションが林立、街のようすの急変には驚くばかりです。一方で市内のあちこちに昔ながらの庶民の生活風景が残っており、その対比に非常に興味を惹かれます。



富陽市内のようす



ずらりと並ぶ甕出し紹興酒



紹興酒

紹興酒

かの有名な紹興酒は浙江省が本場です。日本では入手がむずかしい甕^{かめ}出し紹興酒がスーパーで簡単に手に入ります。昔は女の子が生まれると地中に甕を埋めて保存し、結婚するときに開けて飲んだそうです。本場ならではのまろやかな味と、とてもリーズナブルな価格のため、ついつい飲み過ぎてしまいます。

西湖と黄山

かつての南宋の都であった杭州のシンボル西湖は、周囲に多くの文化遺産が点在し、春には湖畔に花が咲き誇る市民の憩いの場です。水墨画のような絶景で有名な黄山は、中国有数の景勝地で「黄山に登れば他の山は見なくてよい」とさえ言われています。どちらも有名な世界遺産で、いつも国内外の観光客で賑わっており、また、週末観光で訪問できる距離にあります。



西湖



黄山

Ingenious Dynamics

住友電工グループは、卓越した知見と独創性を持ち、
そのダイナミクスによって最大効果を創出し、社会の期待に応えていきます。

Ingenious は、それぞれが備え持つ卓越した能力と独創性、そして顧客志向の機動力を、
Dynamics は、原動力(住友の精神)、力学(多角化事業・技術によるグループ全体の総合力)、
革新のエネルギー(進取、気鋭)を表しています。また同時に、頭文字の「ID」は、
グローバルに「住友電工のアイデンティティ」(独自の個性)を積極的に発揮していく姿勢と、
「Infrastructure Development」(社会インフラの発展)に貢献し続ける意志を示しています。



手から生まれる「絆」と「技術」

私たちの手からさまざまな“カタチ”が生まれる。
そして、手と手がつながることで“絆”が生まれる。
私たち住友電工グループも、より良い暮らしを創るための技術、
サービスを一人ひとりの手を通して社会に提供しています。

住友電気工業株式会社

<http://www.sei.co.jp/>(バックナンバーも掲載しています)

本 社(大阪) 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) Tel.06-6220-4119 Fax.06-6220-6485
本 社(東京) 〒108-8539 東京都港区芝浦3-9-1(芝浦ルネサイトタワー) Tel.03-6722-3100 Fax.03-6722-3109
1月21日より営業開始
中 部 支 社 〒107-8468 東京都港区元赤坂1-3-13(赤坂センタービル) Tel.03-6406-2600 Fax.03-6406-2700
中 部 支 社 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6(住友商事名古屋ビル) Tel.052-963-2700 Fax.052-963-2818
九 州 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8(住友生命博多ビル) Tel.092-441-1791 Fax.092-473-7084
中 国 支 店 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-2(銀泉広島ビル) Tel.082-248-1791 Fax.082-249-3483
東 北 支 店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通) Tel.022-262-7540 Fax.022-262-7538
北 海 道 支 店 〒060-0042 札幌市中央区大通西8-2(住友商事フカミヤ大通ビル) Tel.011-241-1375 Fax.011-281-4113
沖 縄 支 店 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-21-1(國場ビル3F) Tel.098-866-3213 Fax.098-866-0277
豊 田 事 業 所 〒471-0855 愛知県豊田市柿本町2-4-1 Tel.0565-26-4105 Fax.0565-26-4158

住友電工グループニュースレター 第424号,2013年1月発行 編集発行人/野田太郎

